



2610地区

Monthly report

上市ロータリークラブ

会長 中村 智雄 副会長 谷口 伸示 幹事 藤縄 雄 会長エレクト 新野 景三

2005~2006

超 我 の 奉 仕

9 月 長 月 (ながつき)

2005.9.7 第1257回例会

■早朝例会 (立山寺本堂)

■講 話「坐禅で雑念を除く」

立山寺第41代住職 真田光道師

坐禅は、座布を用いて坐る。衣服はゆったりとまとい、右の足を左の腿の上に置き、左の足を右の腿の上に置く(結跏趺坐)ケッカフザ。又は左の足を右の腿の上に置く(半跏趺坐)ハンカフザ。右の手を左の足の上に置き、左の掌を右の掌手の上に置き、両手の親指を向かい合わせてつける。

臀部(デンプ)と両膝で体を支え、背筋をゆったりと伸ばす。目は半眼に開き、ゆったりと呼吸する。調身・調息・調心、坐り方を正し、呼吸を整え、心を静かに保つ。

壁に向かい、只管打坐(シカンタザ)、ただひたすら坐る。家庭のこと、仕事のこと、政治のこと、友達つきあいのことなど、一切の俗事を離れ、物事の善悪や是非などにも心を動かさない。心を静めよう、仏に近づこうなどとも思わない。

このように坐ることにより、自分の体や心にも囚われない、非思量、無念無想の境地になる(曹洞宗の坐禅)。

だが、これはすぐできるようなものでもない。繰り返し時間をかけて、慣れることが必要であろう。慣れてくれば、周りの物音が聞こえてきても、全く気にならなくなる。一切の俗事も頭に浮かばなくなる。まずは坐禅に慣れることである。

2005.9.14 第1258回例会

■開会点鐘 12:30

■誕生祝

9月12日 細川 正さん

9月19日 岡田 保さん

■幹事報告

*10月5日ガバナー公式訪問しクラブ・アッセンブリーを実施する。

*10月12日越中八尾ロータリークラブ主催の3クラブ合同例会が行われる。

■ニコボックス報告

誕生祝いを頂いて 岡田 保さん

■出席報告 23/28人 82.14%

■委員会報告 (山本雑誌・広報委員長)

「ロータリーの友」2005年9月号紹介

RI会長が、新世代のためにロータリーが実施しているプログラムの意義について述べています。

今月新世代のための月間として、「新しい世紀を担う若い人々のために」「新世代のための活動あ・れ・こ・れ」について、各クラブで新世代のために取り組んでいる活動を、写真で紹介してあります。シカゴ国際大会の思い出と、コペンハーゲン国際大会の紹介が載っています。

ロータリー米山記念奨学会からは米山記念奨学事業の基礎知識—寄付金・財政編—として、先月号に引きつづき、今月も米山記念奨学事業の基礎知識として、奨学金制度を支える寄付金・財政について紹介してあります。

例会日 (水) 12時30分 例会場 ウェルハートピアつるぎ

事務局〒930-0361中新川郡上市町湯上野1 (TEL 472-6333)

■地区委員長会議報告

* 藤原社会奉仕委員長

講演会「福祉活動とボランティア」

(社福)鶴寿会 指定介護老人福祉施設

「サンライフたきの里」施設長 岩尾貢氏

落ち穂拾いを農村の一風景と思っていた。拾っているのは農民でなく、貧民が拾っているのである。農民はわざと少し落としている。日本社会では、お寺など地域で知的障害者や身体障害者をうけいれていた。現在は施設に收容するのが基本で地域の実情に合わせるようになってきた。決定権が行政側にあり公・私で行うことが区別されていたが多少緩和され使用者とサービス側との契約で行うようになった。ほどこし→権利があって契約で行うようになる。一方、今まで行政は寝ることと食べることを保障していたが、入所者の負担になり特養で食費1.6万円、居住費3.5万円負担が増える。

当地区の社会奉仕事例発表

地域発展:金沢香林坊 RC RINGO プロ地区
ジェクト地区内のリング園と契約(6本×約
200個)し、袋掛けや下草刈りをしている。
11月に施設の人達と収穫をし、その施設や
日頃世話になっている団体などに配り交流を
深めている。

人間尊重:新湊 RC 1. 聾啞者とのボー
リング大会を継続している。2. 地区の一人暮
らしの人に弁当を届けコミュニケーション
(話相手)することを計画している。

環境保全:加賀白山 RC 菜の花ロード大
聖寺駅前900坪と300坪の空き地を整理、石
灰蒔き、種蒔きを年内に行い、花が咲いた後
刈り取りをする計画です。25名位種蒔き
に参加してもらえと思っている。



* 高橋職業奉仕委員長

グループ討議として8グループに分かれ
て全員がクラブの行事について話し合い、グ
ループ長が取りまとめて全体会議で発表され
るという形式で行われました。

少し変わった事例を紹介しておきます。

- ・山に水ならの木を植える運動(熊の出没による共生をはかる)
- ・高校の就職の時の面接の模擬テストのお手伝いをする
- ・町に働きかけて上水道にフッ素を混ぜる運動(歯を強くして予防促進する)
- ・全員で映画鑑賞してその後全員でデスクッションする

ある記事で「四つのテスト」を採択した経過を簡単に紹介します。

ハーバード・テラー氏がシカゴの会員でしたが、倒産した会社の社長に就任しその後いろんな苦労や困難を乗り越えて考え出したのが「四つのテスト」でした。社員全員から受け入れられ次第に業績が上がり黒字を出すまでになった。シカゴクラブが「四つのテスト」の存在を知ったのは1939年になってハーバード・テラー氏が商工会議所でその話しをした時、偶然二人のロータリアンがゲストとして居合わせたからです、ハーバード・テラーが会長になり更に国際ロータリーの会長を歴任した祭「四つのテスト」があまりにも素晴らしいので、全ロータリアンの職業奉仕の指針にしたいという声があがり、彼がRI会長に就任した1954年にその版權をロータリーに寄付され、今日にいたっています。



* 金田ロータリー財団委員長

ロータリー財団は1917年米国ジョージア州アトランタで開催された国際大会においてアーチC・クランプが「世界的な規模で慈善・教育・その他社会奉仕の分野でよりよきことをするために基金をつくろう」と提案したことに始まり、1928年国際大会でロータリー財団と名づけられ、1931年に信託組織となり、1983年米国イリノイ州の法令の下に非営利法人となりました。

主に次のような自項です

- I. 大口寄付者…年次寄付・恒久基金寄付・使途指定寄付などのすべての現金寄付額

の総計が10,000ドルに達した者（日本には2005年7月現在606名です）

II. 年次寄付…合計1,000ドルした人又使途を決めずに寄付して3年後にその寄付金を使う（ポールハリスフェロー）

III. 恒久基金寄付…恒久基金として1,000ドル以上寄付したか遺贈の学友人としてロータリー財団を指定したことを通知した人（ベネファクター）

ロータリー財団の寄付種類は他にも多くさんありますので寄付をお願いします。

・税制上の優遇措置

1. 2005・6年度から教育プログラムで一括20万円以上

2. 米山奨学者は10万円以上

・ロータリーカードについて

1. ロータリーカードは年会費無料のスタンダードカードと会費10,000円のゴールドカードがあります、10,000円の内3,000円はロータリー財団に寄付されます。

2. カード使用での物品購入での寄付は支払金額の0.3%がロータリー財団に寄付されます、シルバーカード・ゴールドカード共にです。

以上のようなことが主な内容で話し会われ又国際親善留学生の生の話しもありました。



2005.9.21 第1259回例会

■開会点鐘 12:30

■誕生祝

9月20日 藤縄 雄さん

9月21日 片山さんの奥様江里子さん

9月22日 島倉さんの奥様恵さん

■幹事報告

中田ガバナー補佐をお迎えしてクラブアッセンブリーが11時30分より実施されました。

■ニコボックス報告

・中田昌作ガバナー補佐より訪問

・中村会長中田ガバナー補佐訪問を歓迎して

新野会長エレクト中田ガバナー補佐訪問歓迎して

・藤縄 雄さん 誕生祝いを頂いて

・片山浩之さん 妻の誕生祝いを頂いて

・細川 正さん 誕生祝いを頂いて

■出席報告 26/28人 92.85%

■中田ガバナー補佐よりクラブアッセンブリーについて

委員会活動計画の総括が行われました。



*不易流行（必要なものと必要でないもの）

「神のもとでは、全ての人は皆兄弟である」の教えと共に、博愛ろか人類愛は祖母から、他人への寛容とか謙虚、正義への献身は祖父から受けた教訓であったと晩年になってから自らが育てられた少年時代、租父母から受けた躰についてポール・ハリスはそのように語っています。

ロータリーの「友愛の精神」はシカゴから始まったのではなく、自分が少年期を過ごしたウォーリングフォードの片田舎にある堅実で質素な家庭の美風から始まったとも迷懐しています。ウォーリングフォードから始まった小さな源流は、流域の支流を集めてロータリーの思想史の大河となりました。

それについて『シカゴのアーサー・フレデリック・シェルルドンは実業界における奉仕の責任を簡単明瞭に「最もよく奉仕する者は、最も多く報われる」という標語でまとめてくれました。ミネアポリスのロータリアンは「超我の奉仕」という更に簡潔な標語を考えてくれました。シアトルのロータリアンは我々の基本綱領を、またシュウシテイーのロータリアンは倫理綱領を提案してくれました。』とポール・ハリスは「ロータリーへの道、の中で書いております。

ロータリー財団の前身となった「基金」の設立を提案した流れをロータリーに導入しました。多くの善意、人々の夢と理想と奉仕への共感の輪は、増強拡大の大きな波と相まって、多様な提案や新たな奉仕の手法を続々と

生み出し、それらの相乗効果もあってロータリーは更なる進化発展を遂げ、今日にいたったのであります。



最近薄れてきた友愛の精神、寛容、謙虚、正義への献身、超我の奉仕はロータリー不変の哲理であります。その反面、世界中のロータリーで奉仕の手法が開発され、ロータリーの多様な進化を支えてきました。

それらは只一人のロータリアンの提案から生まれ、その後多くのロータリアンによって改善増幅されて今日に至り、更に新たな発想により限りなく進化発展が期待出来るということでもあります。

変わらないことと、時に従って変わらなければならない、いわゆる「不易流行」について、ポール・ハリスは「ロータリーは時代の変化と共に変わらなければならない。時代の変化と共に変わらなければ、衰弱あるのみ」と警鐘を鳴らしておりました。

2005.9.28 第1260回例会

■開会点鐘 12:30

■誕生祝

- 9月29日 黒田勲さんの御誕生日
- 9月30日 北川さんの奥様の御誕生日
- 9月29日 田中義則さんの御誕生日
- 9月29日 中村智雄さんの御誕生日

■幹事報告

ハリケーンの寄付を御願します

■委員会報告 (山本雑誌・広報委員長)

- ・RI 会長 (カール・ヴィルム・ステンハマー) メッセージ
- ・職業奉仕こそ超我の奉仕の実践 P1
- ・特集 10月は職業奉仕月間です P5-16
- ・アイデアの誕生 職業奉仕はいかにして生まれたか P9-11
- ・私にとっての職業奉仕 P12-16
- ・`温まる、国際大会 P26-27
- ・おとぎ話のふるさととコペンハーゲンの紹

介 P26-31

- ・基本の樹 ようこそロータリー P34-35 縦組み
- ・やればできる P2-6・その人その人 P7-11 (高岡 RC) 四津谷道昭さん

■ニコボックス報告

- 誕生お祝いを頂いて田中さん
- 誕生お祝いを頂いて中村さん
- 誕生お祝いを頂いて北川さん

■出席報告 24/28人 92.85%

■卓話 演題「元気とやま」

「富山県新世紀産業機構 事務局長
中田正雄様」

この事業はとやまの企業の元気づくりをワンストップで支援します。

*創業・ベンチャーへ挑戦し企業の経営革新を支援する。

①ベンチャー企業等の支援事業

上市町ではライフケア技研株式会社が支援を受けています。

②経営の革新・活性化事業

③販路の開拓促進事業

④情報化の支援事業

⑤設備資金貸付・設備貸与事業上市町では(有)きんたさんが活用されています。

⑥商店街の活性化事業

*産学官の連携による富山ならではの新産業の育成・創出

①産学官の連携の推進

②新産業・新技術の創出

③産学官協同研究プロジェクトの推進

*アジアを始め世界に羽ばたく企業を支援

①環日本海経済交流推進事業

②貿易投資コンサルティング事業

③海外市場開拓支援事業

④展示・商談会等開催事業

⑤国際交流事業

これらの事業を活用して成功した挑戦者がたくさんおられますので是非活用して下さい。

